

世界農業遺産

Globally Important Agricultural Heritage Systems

持続可能な水田農業を支える

「大崎耕土」の伝統的水管理システム

宮城県大崎地域は、東北の太平洋側に特有の冷たく湿った季節風の「やませ」による冷害や地形的要因による洪水や渇水を克服するため、水路やため池などの水管理のシステムが発達しています。厳しい農業条件の中で育まれた豊穡を祈る農耕儀礼などの農文化や、「居久根（いぐね）」と呼ばれる屋敷林などの景観が特徴です。

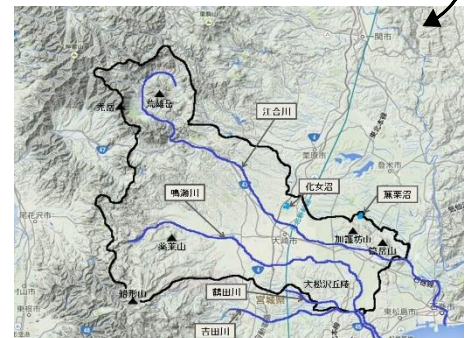
厳しい自然環境が
洗練された
農業システムを
つくりあげた



屋敷林「居久根」



水田が支える農業生物多様性



巧みな水管理基盤
— 契約請を基盤とした水管理 —

水路管理 隧道・潜穴

洪水の調整

遊水地による
しなやかな水管理

水田 白滝遊水地 水田 水田

水田を組み合わせた遊水地を設け、
周辺の浸水被害を軽減

巧みな水管理

「やませ」を克服する栽培技術

ぬるめ水路 深水管理・昼間止め水

**生物多様性と農業の
共生関係**

天敵を活かした害虫の抑制

害虫 天敵 土着天敵

マカンの越冬を支え続ける水田農業（2つのラムサール条約湿地）
世界的に貴重な越冬環境

水田の湿地生態系と 共生する農業

食料と生計を支える農業生産

大崎が生んだリサニシキ、
ひとめぼれの生産 酒、味噌、醤油など発
酵食品の製造

水資源の配分調整

下水水田への
反排水利用

洪水 排水

渇水時の「番水」や用水の「反排水利用」などを可能とする農家主体の配分調整

種用・調整

安定供給

生きものの豊かな環境

屋敷林「居久根」

〇複層的な樹種で構成され、自給的自立的な暮らしと営農の拠点
〇「水田に浮かぶ森」として、カエルや鳥類などの生息場所

水田地帯に暮らす知恵

大崎耕土が育むランドスケープと伝統文化、継承への取り組み

**水田農業が育む
伝統的な農文化**

豊穡を祈る農耕儀礼

大崎耕土の「ごっつおう
(御馳走)」餅料理

水田農業の営みが生み出すランドスケープ

大崎 耕土

**農業システムを
継承する取り組み**

交流・信頼による
支え合い

農業システムを守る
次世代育成

世界農業遺産認定による効果（アクションプランの推進状況）

フィールドミュージアム構想

フィールドミュージアムの構築による地域資源の魅力の再発見を通じた動的な保全と活用

→ 多様な資源を巡るツーリズムを核とした交流人口の拡大

「大崎耕土」の地域資源の「見える化」の取組

- ・大崎耕土11地域の地域資源をマップに整理
- ・紹介映像と連動した案内板を地域内40カ所に設置
- ・「食」「体験」に焦点を当てた各種パンフレットの制作

フィールドミュージアムマップ



映像と連動した案内板



たべるフィールドミュージアムマップ



郷土料理のレシピブック



↑ ランドスケープ価値の向上に向けた保全手法の検討

- 居久根保全における補助事業を創設
- 大崎耕土語り部養成に向けた公民館事業との連携

世界農業遺産ブランド認証制度

地域資源の価値の発信を通じた持続的農業の推進

→ ブランディングによる価値の共有と向上を通じた持続的農業の推進

- ・認証主体:大崎地域世界農業遺産推進協議会
- ・認証対象:農畜産物及びその加工品

基本項目

- 環境負荷の低減
- 地域内生産
- 銘柄やブランド基準の維持
- 関係法規の遵守
- 生き物モニタリング(米)

選択項目(GIAHS視点)

- 特筆した環境負荷の低減
- 品質の多様性の保全
- 生産工程管理基準
- 多面的機能支払活動実施
- 特筆した生物多様性の取組

R元年度開始（米:R元～、岩出山凍り豆腐:R2～、野菜・日本酒:R3～）

教育機関と連携した人材育成

農業の知恵の継承と価値の共有

→ 人材育成の推進による農業の知恵の継承と価値の共有

公的教育機関(中高等)での出前授業実施

世界農業遺産ツアーの企画

未来を担う子供たちへの人材育成

各種団体での出前講座実施

※「世界農業遺産副読本」の制作(R元)

